

13. 膵がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	消化器外科	7	2	状況 ○	○	○	責任者の消化器外科部長(肝胆膵)は前任地(地方がんセンター)から多くの膵臓手術に携わっており、豊富な経験から最も適切な治療法を選択しています。化学療法・放射線療法を駆使した集学的治療をおこなっています。	ア http://www.otemae.gr.jp/treatment/shoukaki-g/	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績 あり	あり	あり		イ http://			
2	消化器内科	6	3	状況 ×	○	○	化学療法・放射線療法を駆使した集学的治療をおこなっています。閉塞性黄疸に対する各種ドレナージ術(ENBD・ERBD・PTGBD・PTCD)、悪性胆道狭窄に対するステント留置などを行っています。	ア http://www.otemae.gr.jp/treatment/shoukaki-n/	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績 なし	あり	あり		イ http://			
3				状況				ア http://			
				実績				イ http://			
4				状況				ア http://			
				実績				イ http://			
5				状況				ア http://			
				実績				イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 膵がん、膵内分泌腫瘍 膵がん、膵内分泌腫瘍
------------------------------------	-----------------------------